

令和6年度学校評価書 山梨市立山梨小学校

1 学校教育目標 人間性豊かに 心身共に健康で たくましく学んでいく子供の育成

2 評価結果

2 評価結果			評価：4が満点			3.5以上	3.0未満			
評価領域	評価項目	評価の観点	R 5年度			R 6年度			○考察	●改善方策
			教職員	保護者	児童	教職員	保護者	児童		
確かな学力の育成	基礎基本の定着	個に応じた指導を行い、学習内容の基礎・基本の定着に取り組んでいる。	3.7	3.4		3.7	3.5		○確かな学力の育成に向けて、個に応じた指導とICTの効果的な活用を意識しながら、計画的に学習を進めることができている。 ●個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るためには、更にICTを効果的に活用した子供主体の授業実践が重要になってくる。それを踏まえた授業改善にも組織的に取り組んでいく。	
	ICTを活用した授業改善	ICT機器を有効に活用し、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	3.3	3.4		3.3	3.5			
	家庭学習の充実	「家庭学習の手引き」を活用し、家庭の協力を得ながら学習指導に当たっている。	3.2	3.3		3.4	3.4			
豊かな心の育成	道徳教育の充実	道徳の授業を中心に、自立心や規範意識を育む教育を行っている。	3.6	3.5		3.6	3.5		○どの学級も、誰もが居心地の良い学級を目指した学級づくりに取り組んでいる。また、学級力向上プロジェクトにも取り組み、学級力アンケートの結果を活用しながら、クラスの人間関係づくりを行っている。 ●今後も、学校だよりや学年だより等を利用して、道徳の授業内容や学級力向上プロジェクトの取組、児童の成長の様子等を保護者に伝えるようにする。	
	仲間づくり・集団づくり	相手の気持ちを理解し、認め合い、協力しあう人間関係づくりを推進している。	3.9	3.5		3.7	3.5			
健やかな体の育成	体力づくり	児童の体力の実態に基づき、体力向上に関する指導を行っている。	3.4	3.5		3.3	3.5		○体育的行事は予定通り実施できた。基本的な生活習慣や衛生管理への保護者の意識も引き続き高い。 ●病気の予防については、家庭での取組も含め、今後も継続して実施していく。朝の体育活動の取組（持久走やなわとび運動等）も、継続して進めていきたい。	
	健康づくり	早寝・早起き・朝ご飯を習慣づけるよう取り組んでいる。	3.6	3.6		3.4	3.5			
将来活躍できる人材の育成	地域人材の活用	地域の文化財や人材等を活用し、地域の特色を生かした学習活動に取り組んでいる。	3.4	3.5		3.4	3.6		○どの学年も地域資源を学習活動に取り入れ、地域の方々との交流学习等を実施することができた。 ●地域の特色を生かした学習を更に推進していきたい。外国語科教育については、「進んで英語を使ってコミュニケーションのとれる児童」の育成を目指し、今後も展開していきたい。	
	外国語科教育の充実	市の外国語科教育に基づき、外国語の基礎的な資質・能力を伸ばす活動を行っている。	3.6	3.4		3.4	3.3			
特別支援教育の推進	特別支援教育の充実	児童の個性や特性に配慮し、誰もが学びやすい環境や授業づくりに努めている。	3.6	3.4		3.7	3.4		○個別の教育ニーズに応じた指導や、いじめの未然防止や早期発見、解決等にあたって、児童に定期的なアンケートを実施しながら、迅速かつ丁寧な対応を組織的にやっている。 ●今後も、「いじめや不登校は、どの学校でも、どの学級でも起こり得ること」として捉え、必要に応じて関係機関とも連携しながら対応を進めていく。教職員と保護者の評価に若干の開きが見られた。学校での取組を保護者に十分に理解してもらえるよう、保護者との連携を更に図りながら対応していきたい。	
生徒指導	いじめ・不登校への対応	いじめの未然防止や早期発見、解決等、適切な生徒指導を行っている。	3.8	3.3		3.8	3.4			
家庭・地域との連携	開かれた学校づくり	地域や保護者との連携を図り、PTA活動や学校行事等の運営を行っている。	3.9	3.6		3.8	3.6		○運動会、交流持久走大会、有価物回収、登校指導等、PTA各専門部と連携しながら実施することができた。学校だより・学年だより等を通して、学校の様子を保護者と共有することができた。 ●今後も、学校、保護者、地域が一体となって教育活動を進めていきたい。また、学校運営協議会との更なる効果的な連携についても考えていきたい。	
	情報の共有化	学校だより等を充実し、児童の様子や学校の方針が理解されるよう努めている。	3.8	3.8		3.6	3.7			
安全教育	安全・防災教育等の充実	定期的な訓練の実施等、緊急時の行動や交通安全、生活安全の教育を行っている。	3.9	3.7		3.9	3.8		○年に4回の避難訓練を実施している。地震や火災についての基本的な行動について、意識して行動できるようになっている。 ●「自分の命は自分で守る」を更に意識できるように、継続して取り組んでいく。水害の被害想定地区に指定されているので、今年度も2月に垂直避難訓練を実施する。	

「やる気いっぱい 山小っ子」	何事にもねばり強く、最後までやり抜く子供	① 身近な人や家族に明るいあいさつができる。	3.3	3.3	3.5	2.9	3.4	3.5	○児童の評価は、どの項目も高かった。教職員の評価ではあいさつの項目が、保護者の評価では勤労の項目が低かった。あいさつ・勤労ともに、それぞれの評価に開きが見られた。 ●それぞれの評価基準の違いもあると思われるが、「大きな声であいさつをする」や「自分から積極的にあいさつをする」など、引き続き指導をしていきたい。また、そうじの仕方や係活動の内容・工夫等、児童会活動とも連携しながら取り組んでいきたい。
		② 進んで家や学校での仕事をする。	3.6	2.9	3.7	3.2	2.9	3.7	
		③ 仕事に責任を持って取り組むことができる。	3.4	3.2	3.6	3.4	3.2	3.6	
		④ 何事にも根気強く最後までやり抜くことができる。	3.3	3.1	3.4	3.4	3.1	3.4	
「学びいっぱい 山小っ子」	創意・工夫し、進んで学習に励む子供	① 進んで家庭学習（自学を含む）に取り組んでいる。	2.9	2.9	3.0	3.1	2.9	3.0	○教職員、保護者、児童ともに、家庭学習と読書の評価が低かった。 ●家庭学習への取組については、引き続き計画的かつ組織的に進めていくことが必要ではあるが、あくまでも家庭での学習であるので、保護者の理解を得る中で進めていきたい。読書については、学校での読書をする時間を確保するために、朝活動での取り組み内容について検討していきたい。また、電子書籍（Yomokka!）が導入されたが、十分な活用がされていないようなので、メディアコントロールの重要性と併せて、今後も声かけをしていく必要がある。
		② 学校の授業を楽しみにしている。	3.5	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	
		③ 積極的に読書をしている。	3.4	2.8	3.2	2.9	2.4	3.0	
		④ 学習の準備等が自分できちんとできる。	3.1	3.1	3.5	3.3	3.1	3.4	
「なかよしいっぱい 山小っ子」	正しく判断し、心豊かで思いやりのある子供	① 学校や家庭でのきまりや約束を守ることができる。	3.3	3.5	3.4	3.5	3.5	3.4	○どの項目も達成できている。きまりを守ることや、相手の立場を考えた言動ができていると考えられる。 ●児童に道徳的な心情や態度を養うとともに、児童の自己肯定感を高めるように、今後も教育活動を進めていきたい。
		② 素直に感謝する気持ちを表すことができる。	3.6	3.5	3.8	3.5	3.5	3.7	
		③ 善悪のけじめがつけられ、正しいと思うことを実行できる。	3.5	3.5	3.5	3.2	3.5	3.5	
		④ 相手の気持ちや立場を考えることができる。	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	3.5	
「心身ともに元気な山小っ子」	心身を鍛え、自他の生命を大切にする子供	① 運動に親しみ、進んで体を鍛えている。	3.7	3.3	3.4	3.4	3.2	3.4	○どの項目も達成できているが、病気の予防の項目で教職員の評価が低かった。 ●病気の予防については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから1年以上経過したことによるものであると考えられる。今後も手洗いやうがい、ハンカチの持参等、しっかりとした感染予防を行い、インフルエンザ等の感染・流行を避けるように取り組んでいきたい。
		② 手洗い・うがい、病気の予防など健康に心がけている。	3.5	3.5	3.5	3.1	3.5	3.5	
		③ 交通安全や生活安全等、自分の命を守る行動ができる。	3.5	3.6	3.8	3.4	3.6	3.7	
		④ 命の尊さを理解し、生き物を大切にすることができる。	3.5	3.7	3.8	3.6	3.6	3.8	

3 学校関係者評価委員の評価

○：成果 ●：課題

◎学校教育目標「人間性豊かに 心身共に健康で たくましく学んでいく子供の育成」について

○「人間性豊かに」に関して

良い評価の「豊かな心の育成」「いじめ・不登校への対応」の教職員の自信に満ちた高い評価に安心しています。

○「心身共に健康で」に関して

「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「安全教育」のどれも不満なく毎日の生活が充実している様子が伺えて推進されていると評価します。

●「たくましく学んでいく」に関して

「基礎基本の定着」が高い評価です。しかし「家庭学習の充実」が低い評価で、児童本人の自己評価（「学びいっぱい 山小っ子」）も最も低かったです。なかなか理想と現実とに合致しがたい苦悩が感じられ、これからも常に意識してほしいと思います。

◎確かな学力の育成について

○ICT機器を効果的に活用して授業が進められて良いと思います。1月の新聞に県内公立小学校の学級担任対象の調査が掲載されていました。山梨小も1人1台端末の活用頻度も増えていると思います。端末活用における1番大きな課題では「児童の書く力・想像力の低下」があげられました。このことについて「書く学習」との適切な融合について検討する方針とありました。今後もICTを有効活用しての授業改善に向けての取り組みをお願いします。

◎健やかな体の育成について

○運動会は例年より遅い10月実施で、暑さ対策ができて良かったです。上級生と下級生が力を合わせる全校種目や、リレーで勝っても負けても最後まで走る姿、応援や運営など上級生がリーダーシップを発揮して下級生がついていく姿など、素晴らしい運動会でした。

◎家庭・地域との連携について

●「見知らぬ人からの声かけに注意」と子供に言うので、最初のうちは「おはよう」との声かけに「とまどい」の表情が伺え、そして「おはようございます」の返事に、「ふれあいの一步を感じた」のではないかとの思いにはせられました。

◎安全教育について

●SNSによる仲間同士のトラブルをはじめ、場合によっては犯罪に巻き込まれる小学生も増加しています。情報モラル教育の取り組みをお願いします。

◎めざす子供像「や・ま・な・し」について

●「身近な人や家族に明るいあいさつができる」について

登校時見守り活動をしていて、自分から挨拶のできる子もいれば、こちらから挨拶すれば恥ずかしそうに小さな声で挨拶する子もいます。去年は大きな声で挨拶ができて、今年は照れがあるのか小さな声になる子もいます。挨拶の大切さを教えて、大人の方からも挨拶を続けることが大切だと思います。

●「やる気いっぱい 山小っ子」で児童本人の高い評価に対して、教職員と保護者の評価とのギャップの背景要因は何でしょう。

●最小点数の「積極的に読書をしている」項目に、読書の楽しさ大切さをどう伝えればよいかと戸惑いを感じました。

●家庭学習や読書の評価が低いのが今後の課題ではないでしょうか。

●積極的な読書の項目が大きく評価を下げているように見えるが、これは電子書籍を含めているのかはっきりしない。含めていても下がっているなら要改善だろう。質問文でどちらかはっきりしているのだろうか。

●「積極的に読書をしている」について

昨年の16歳以上の調査で、「月1冊も読まない人6割」とありました。読書量が減少した人に理由を聞くと、「スマホやタブレットに時間をとられる」が最も多かったです。山梨市では、本に親しむ環境整備（電子書籍導入）がされています。朝学習や家庭学習に取り入れ、図書室で紙の本の良さを伝えること等の取り組みをお願いします。

◎全体を通して

○多くの項目で教職員、保護者の評価が良好で安心しています。

○開かれた学校づくりを始めとして、多くの項目で高い評価を得られているので、今後も続けられるよう協力していきたい。

○5年前の春、ランドセルに背負われ、お兄さんお姉さんに導かれて通学が始まった1年生が、本年度は6年生となり、4月の登校開始の日より黄色い旗を持って先頭を歩き、横断歩道ではさっと中ほどに立ち、下級生は「僕が守る、私が守る」との姿を見た時は、あの時の1年生が6年生になると、こうもたくましくなるものかと子供の成長のすごさにびっくりさせられるとともに、感動させられました。

○本校は1クラスの児童の多さが市内1番と聞き、先生方の変さに敬意を表します。

○昨今の多様性社会の中、先生方のご苦労はいかばかりかと存じます。「やるき・学び」、「ねばり強さ」、「創意・工夫」、どれもすべての項目につながる重要なことだと思います。すぐに結果が出なくても、家庭・学校での連携、継続が必要だと思います。